



田検小学校  
ヒストリア ～歴史秘話～  
第1号 (25.9.20)

賑々しい雰囲気の中で、各集落の豊年祭行事が終わりました。五穀豊穰を共に喜び合い、一年の安泰と発展を祈願することもできたと思います。

さて明日は、「信じあい かけぬける 燃える 田検魂」というスローガンの下で、「～奄美群島日本復帰 60 周年記念～ 第 66 回 田検小・田検中合同体育大会」を開催します。子供たち、保護者、地域の皆様方が一緒になって、初秋の一日を満喫していただきたいと思います。皆様お誘い合わせの上、会場（田検中学校）へお越しください。お待ちしております。

### 1 「田検小ヒストリア ～歴史秘話～」を発行

昭和 28 年 12 月 25 日。奄美群島が日本に復帰した日です。それから 60 年。多くの先人が艱難辛苦を乗り越えてこられた結果として、今の平和な日本そして豊かな奄美があると思っています。今は亡き方々の御霊にも、心から感謝の意を捧げたい気持ちです。

さて、私たちの田検小学校も、133年の歴史を歩んでいます。地域の方々の篤い思いと、各方面からの実に多くの方々の献身的なお力添えがあったからこそ、こうして今も、元気に学ぶ子供たちと共に、学校の歴史と伝統を刻み続けることができます。

今、この機会に田検小学校にまつわる歴史秘話や昔の出来事など(ヒストリア)を掘り起してみることで、新たな伝統づくりのヒントやアイデアが生まれるのではないかと考えているところです。

この紙面で、田検小学校にまつわる懐かしい話題や埋もれていた学校秘話を発信できたらいいなと思っています。子供や地域の方々と一緒に、本校の昔・今・未来を観ていくことができたら幸いです。

### 2 「校章」はいつごろ作られたの？(ある子供の疑問)

第1号は、「校章」についてのヒストリアです。校章が、学校のシンボルマークであることはだれもが知っていると思います。子供たちの体育帽子やネームにも縫い付けられており、普段から教育活動の多くの場

で見えています。

さて、いつごろ、どんな意味を込めて、この校章は制定されたのでしょうか？

校長室に保管してある「学校沿革史」や古い資料などを紐解いてみると分かってきました。

制定されたのは「昭和35年」です。沿革史によれば、その年に「学校創立80周年記念式典」が挙行されていますので、それに合わせて制定されたのではないかと思います。今から50年以上も前のことです。

ただ、制定に当たって、どのような方々が携わられたのかについては、記録を見つけ出すことができていません。ご存知の方がいらっしゃれば、情報をお寄せください。

「校章」には、次のような意味が込められています。

## 校 章

1. 上部の山形 ( ) は、湯湾岳(右)と地和岳(左)の連峰。
2. 下部の山形 ( ) は、波静かな焼内湾に映った連峰の形。
3. 中にある無数の点々は、水田の情景で田検小の「田」。
4. 左右に突き出した角は、田検小の検(剣)…剣のような鋭い感覚を持った個性ある子供像の意。

昭和35年度制定

- 1 上部の山形は、湯湾岳(右)と地和岳(左)の連峰。
- 2 下部の山形は、波静かな焼内湾に映った連峰の形。
- 3 中にある無数の点は、水田の情景で田検小の「田」。
- 4 左右に突き出した角は、田検小の検(剣)…剣のような鋭い感覚を持った個性ある子供像の意。

今では水田はありませんが、昔、田検小の周辺には、多くの水田があったことがうかがえます。「剣のような鋭い感覚(感性)を持った個性ある子供」を育てるという思いは、今でも学校や地域にしっかりと受け継がれています。一緒になって取り組んでいきましょう。次号をお楽しみに！ (文責：福田裕生)